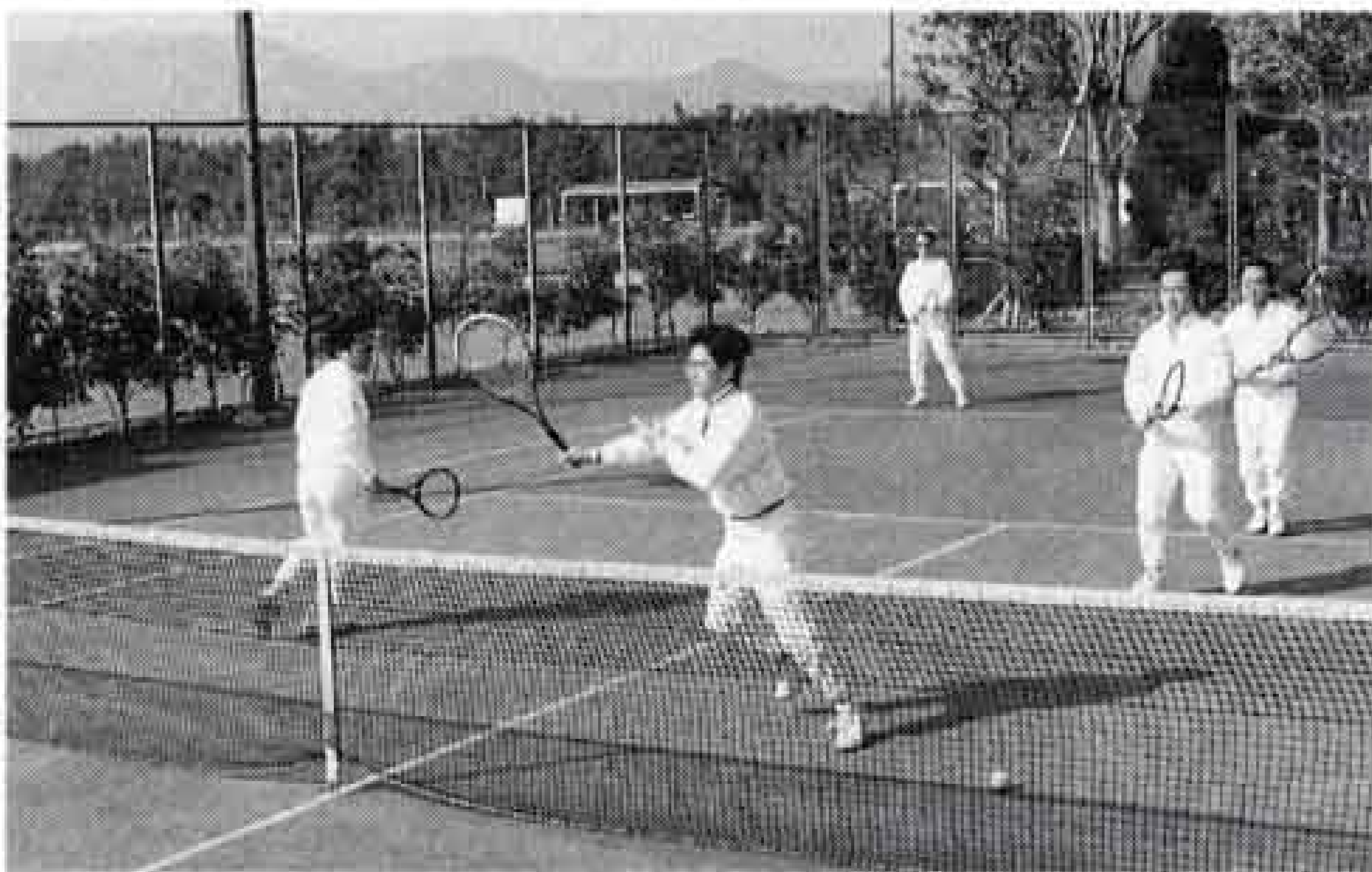


②⑤ **勝っても負けても 和気あいあい**

「ポリプラテニス部」



◁基本をしつかり

ポリプラテニス部は、テニス好きが集まって、昭和43年の富士工場設立と同時に発足しました。現在、部員は40余人。毎週水曜日に、最近設置された照明のもと、和気あいあいとボールを打ち合っています。練習の成果は大会でと、意気込んで試合に臨みますが、新人は初戦負けも多々。でも、みんなテニス好き。ボールを打ち合う「パコーン、パコーン」という音で、ストレスを解消しています。また一番の楽しみは、山中湖での夏合宿。夜は一気に盛り上がります。

多くの仲間をつくり一層腕を磨きたいと、他クラブとの対抗試合も行っていますので、試合や練習を希望するクラブの方、連絡をお待ちしています。
問い合わせ ポリプラスチックス(株) 田島
☎ 64-7313

農家にとって今も昔も変わらぬものは、豊作を祈る心。冬の間にお百姓さんたちは夜なべ仕事で、せつせと米俵を編みました。春になれば、すぐに始まる農作業のことなど考えながら。

個性派の 道具たち ⑨



杉崎 仁さん (船津)



を、縄で締めつけていくのですが、厚さが平均になるように、根元の方を左と右とに交互に積み重ねていきます。規則正しく動く手元をじつと見てみると、タイムスリップしてしまいそう。俵を編む道具は、とても簡単なものです。二またの木が一对と、幅が二寸で長さが九十センチくらいの板が一枚。それに「こもつり石」と呼ばれる細長い石が十個。これだけです。杉崎さんは、編むよりもわらをたたくのや縄をなう方がよっぽど骨の折れる仕事だったと言います。また、今のわらは品種改良されて二十センチは短くなっているから、もう米俵はできないと。米俵もつくられなくなれば、昔のように稲の丈も必要ないのかもしれないと。

俵を編む道具

船津の杉崎仁さんに、二十五年ぶりに米俵を編んでいただきました。「なにしろ久しぶりだから、うまく編めるかどうか心配で、ゆうべは寝むれなかったよ」と言いながらも、手は休みなく動きます。木づちで丹念にたたいてやわらかくなつたわらを、十二本くらい手に取って、幅が二寸くらいの板の上に置きます。このわら

を、縄で締めつけていくのですが、厚さが平均になるように、根元の方を左と右とに交互に積み重ねていきます。規則正しく動く手元をじつと見てみると、タイムスリップしてしまいそう。俵を編む道具は、とても簡単なものです。二またの木が一对と、幅が二寸で長さが九十センチくらいの板が一枚。それに「こもつり石」と呼ばれる細長い石が十個。これだけです。

①

力を合 わせて

吉原東中学校生徒会活動

豆まき大会

豆まき大会は、すぐく大変でした。幼稚園児を初めてお客様に迎える企画、各クラスから鬼の役で一人ずつ参加する劇。何回も何回も練習をしました。



△豆をくれー

衣装をこらした七匹の鬼が、舞台から園児の前に降りてきます。園児たちは、新聞紙でつくった豆を投げつけます。鬼たちは、次々とたおれていきます。しかし、一匹だけ、とつぜん巨大化し、園児におそいかかりました。でもやっぱり、豆でやられてしまいました。そのあと鬼たちは、七福神に変身して、園児に本物の豆をまいてあげました。鬼の役は大変でしたが、園児たちはお喜び。これを見ている生徒も先生も、みんな楽しそうな顔をしていました。このほか、生徒全員への豆まき、抽せん会など、もりだくさんの豆まき大会でした。不安がいっぱいでしたが、みんなの力で成功させることができました。来年も楽しみです。



△鬼が巨大化

こちら編集室

いよいよ春。身も心も浮き浮きしてくる季節です。でも花粉症の人は...。ところで、いきいきグループ、今回はポリプラテニス部の登場です。楽しいグループ活動を続けている皆さんの、応募をお待ちしています。申し込み・問い合わせ 広報広聴課 内線二八三三